【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【公開番号】特開2019-6830(P2019-6830A)
【公開日】平成31年1月17日(2019.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2019-002
【出願番号】特願2018-195775(P2018-195775)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/74　(2015.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/741　(2015.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/644　(2015.01)
Ａ６１Ｐ　13/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　15/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/9728　(2017.01)
Ａ６１Ｑ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/18　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/10　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　29/08　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　29/12　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　31/08　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　27/28　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　27/40　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/99　(2017.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/74　Ａ
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　27/16
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　11/02
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　1/02
Ａ６１Ｐ　1/00
Ａ６１Ｋ　35/741
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　3/02　１０１

Ａ６１Ｋ　35/644
Ａ６１Ｐ　13/02
Ａ６１Ｐ　15/00
Ａ６１Ｋ　 8/9728
Ａ６１Ｑ　11/00
Ａ６１Ｋ　36/18
Ａ６１Ｑ　19/10
Ａ６１Ｌ　29/08
Ａ６１Ｌ　29/12
Ａ６１Ｌ　31/08
Ａ６１Ｌ　31/12
Ａ６１Ｌ　27/28
Ａ６１Ｌ　27/40
Ａ６１Ｋ　 8/99

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月11日(2019.9.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
(1)反応器内で微生物バイオフィルムを増殖させる工程であって、該バイオフィルムを該反応器内で生物学的増殖培地と接触させる工程；
(2)該反応器から該バイオフィルムを除去することにより該バイオフィルムを回収し、それにより生物学的に活性なバイオフィルム細胞を含む画分を得る工程；ならびに
(3)該画分を適切な担体と組み合わせて、生物学的に活性な組成物を形成する工程
を含む、生物学的に活性な組成物を調製するための方法。
【請求項２】
前記生物学的活性が、抗微生物活性または抗炎症活性である、請求項1記載の方法。
【請求項３】
前記微生物バイオフィルムが、バクテロイデス菌、ビフィズス菌、および乳酸菌からなる群より選択されるプロバイオティクス微生物のものである、請求項1記載の方法。
【請求項４】
前記微生物が、乳酸菌である、請求項3記載の方法。
【請求項５】
遠心分離または濾過により前記バイオフィルム細胞から上清を分離する工程を含む、請求項1記載の方法。
【請求項６】
前記生物学的活性が、抗微生物活性である、請求項1記載の方法。
【請求項７】
前記生物学的活性が、抗炎症活性である、請求項1記載の方法。
【請求項８】
前記組成物がアルコールを含む、請求項1記載の方法。
【請求項９】
前記組成物が食品を含む、請求項1記載の方法。
【請求項１０】
化粧用組成物であって、担体が化粧用途に適している、請求項1記載の方法。

【請求項１１】
前記担体が局所投与に適している、請求項2記載の方法。
【請求項１２】
微生物叢を操作するための方法であって、該方法が以下の工程を含む方法により製造された生物学的に活性な組成物と該微生物叢とを接触させる工程を含む方法：
(1)反応器内で微生物バイオフィルムを増殖させる工程であって、該バイオフィルムを該反応器内で生物学的増殖培地と接触させる工程；
(2)該反応器から該バイオフィルムを除去することにより該バイオフィルムを回収し、それにより生物学的に活性なバイオフィルム細胞を含む画分を得る工程；ならびに
(3)該画分を適切な担体と組み合わせて、該生物学的に活性な組成物を形成する工程。
【請求項１３】
動物における病的状態を治療するために用いられる、請求項12記載の方法。
【請求項１４】
前記状態が炎症である、請求項13記載の方法。
【請求項１５】
以下の工程を含む方法により製造された生物学的に活性な組成物と微生物とを接触させる工程を含む、抗微生物方法：
(1)反応器内で微生物バイオフィルムを増殖させる工程であって、該バイオフィルムを該反応器内で生物学的増殖培地と接触させる工程；
(2)該反応器から該バイオフィルムを除去することにより該バイオフィルムを回収し、それにより生物学的に活性なバイオフィルム細胞を含む画分を得る工程；
(3)該画分を適切な担体と組み合わせて、該生物学的に活性な組成物を形成する工程。
【請求項１６】
前記微生物が無生物表面上にある、請求項15記載の方法。
【請求項１７】
病原性微生物の増殖を阻害するために用いられる、請求項12記載の方法。
【請求項１８】
前記バイオフィルムが、プロバイオティクス微生物のものである、請求項12記載の方法。
【請求項１９】
前記微生物が、バクテロイデス菌、ビフィズス菌、および乳酸菌からなる群より選択される、請求項12記載の方法。
【請求項２０】
前記微生物が、乳酸菌である、請求項19記載の方法。
【請求項２１】
前記組成物を製造するための方法が、遠心分離または濾過により前記バイオフィルム細胞から上清を分離する工程を含む、請求項12記載の方法。
【請求項２２】
前記バイオフィルムがヒトから得られた生物学的サンプルから増殖される、請求項12記載の方法。
【請求項２３】
前記組成物がアルコールを含む、請求項12記載の方法。
【請求項２４】
前記組成物が食品を含む、請求項12記載の方法。
【請求項２５】
前記担体が局所投与に適している、請求項12記載の方法。
【請求項２６】
前記微生物が、バクテロイデス菌、ビフィズス菌、および乳酸菌からなる群より選択される、請求項15記載の方法。
【請求項２７】

前記微生物が、乳酸菌である、請求項15記載の方法。
【請求項２８】
前記組成物を製造するための方法が、遠心分離または濾過により前記バイオフィルム細胞から上清を分離する工程を含む、請求項15記載の方法。
【請求項２９】
前記組成物がアルコールを含む、請求項15記載の方法。
【請求項３０】
前記組成物が食品を含む、請求項15記載の方法。
【請求項３１】
化粧用組成物であって、担体が化粧用途に適している、請求項15記載の方法。